

2歳6か月児歯科健康診査

令和8年4月改訂

1. 問診

- ・ 健診対象者の食生活、歯みがき習慣、フッ化物使用状況、口腔習癖などについて確認する。

2. 口腔内診査

- ・ 歯科医師が人工照明下で平面歯鏡を用いて行う。
- ・ 探針は、歯垢・食べかすの除去や溝の填塞物・充填物の有無の確認を目的とする診査の補助器具として用いる。
- ・ 歯の全部あるいは一部が口腔内に現れているものを萌出歯とする。
- ・ 歯列及び咬合の状況を診査する。
- ・ 診査項目について口腔内を診査し、結果は以下に示す記号を用いて診査票に記入する。

(1) 歯の状態

診断		記号	診査基準
健全歯	健全歯	/ または -	・う蝕が認められないもの ・着色、外傷、エナメル質形成不全などの歯であってもそれにう蝕が認められないもの ・予防填塞(フィッシャー・シーラント)がされている歯
	要観察歯	CO	・エナメル質の白濁があつて経過観察を行うことが適当と判断される歯 ・歯の表面や小窩裂溝において着色を認めるが、エナメル質の軟化や実質欠損が認められないもの
	サホライドCO	⊕CO	・フッ化ジアンミン銀(サホライド)を塗布した要観察歯
未処置歯		C	・歯質にう蝕と思われる実質欠損がある歯 ・治療が完了していない歯(治療中などの歯) ・処置歯であっても二次う蝕または他の歯面等でう蝕が認められる歯
		⊕C	・フッ化ジアンミン銀(サホライド)を塗布した未処置歯
処置歯		○	・予防填塞(フィッシャー・シーラント)の施してある歯については可能な限り問診して、 う蝕のない歯に予防填塞を施したものは健全歯とする う蝕のあった歯に 填塞したものは処置歯とする
喪失歯		△	・う蝕が原因で喪失した歯、外傷・未萌出歯・先天性欠如歯は含めない
		外傷喪失歯	・外傷による喪失歯は歯式に「外傷喪失」と記入する
その他異常	癒合歯	┌ ゆ	・1歯として数える。例) ABが癒合歯の場合 AB └ ゆ
	先天性欠如歯	×	・先天性の欠損がある場合
	過剰歯	過剰歯	・正常歯数より多い、現在歯数に含めない
現在歯	健全歯、未処置歯、処置歯を合計した歯数		

(2) 咬合・軟組織・その他異常

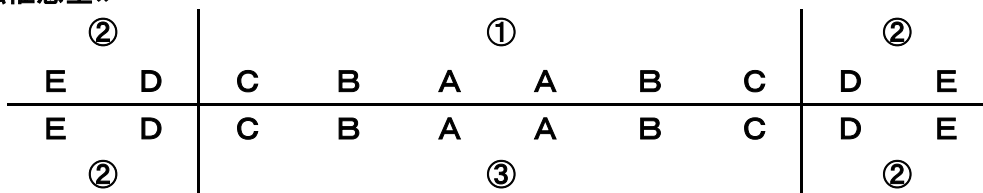
診断		記載方法	診査基準/診断名
不正咬合	異常なし	なし	・今のところ異常は見られない
	経過観察 要治療	あり	・反対咬合 ・切端咬合 ・交叉咬合 ・上顎前突 ・開咬 ・過蓋咬合 ・正中離開 ・そう生 ・その他等 診断名を記載する
軟組織異常	異常なし	なし	・今のところ異常は見られない
	経過観察 要治療	あり	・上唇小帯 ・舌小帯 ・地図状舌等 診断名を記載する
その他異常	異常なし	なし	・今のところ異常は見られない
	経過観察 要治療	あり	・癒合歯 ・先天性欠如歯 ・形成不全等 診断名を記載する

(3) 汚れ

診断		記載方法	診査基準
汚れ	なし	なし	・歯垢付着がなく清掃状態が良好
	あり	あり	・歯垢付着があり清掃状態が不良

3. 結果及び保健指導

《う蝕罹患型》



※ う蝕がある部位 (①②③) 別で下記によりう蝕罹患型を分類する

※ う蝕はう蝕経験歯 (未処置歯、処置歯) とする

罹患型 年齢	O型	A型	B型	C1型	C2型
2歳6か月	う蝕なし	①または②	①と②	③	③と他の部位

《2歳6か月児保健指導》

- ☆ フッ化物使用を勧める（塗布、歯磨剤など）
- ☆ 別紙『チェックシート』に記入し指導後、保護者へ渡す

う蝕罹患型	判定基準	指導内容
○型	う蝕なし	<ul style="list-style-type: none"> ・2歳6か月児歯科健康診査記録票 アンケートについて指導する ・フッ化物使用や定期歯科健診を勧奨する
A型	上顎前歯部のみ、または臼歯部のみにう蝕がある	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔内の状況を説明し受診勧奨をする ・アンケートについて『チェックシート』を参照し、該当項目について指導する
B型	上顎前歯部及び臼歯部にう蝕がある	
C1型	下顎前歯部のみう蝕がある	
C2型	下顎前歯部と他の部位にもう蝕がある	

2歳6か月児歯科健康診査記録票 アンケートについて

① 1日に飲むジュース類総量

ジュース類等は毎日にならないようにまた飲む場合は1日100ml以下にすること。（横須賀市の管理栄養士の助言では、甘味を含むジュースやスポーツドリンク、乳酸菌飲料等は絶対に飲んではいけいではないですが、習慣的に飲むことにより、むし歯だけではなく食事への影響も出やすいので注意することとしている）

② おやつ の 摂り方

規則正しい食生活を送る・ダラダラ食べ（いつまでも口の中に食物が入っている）をしないこと。

③ おやつ の 回数

1日に3回以上の児は2回以下の児と比べう蝕になるリスクが高い、間食の回数が多くなるとむし歯になるリスクが高くなることを説明する。

④ 母乳・哺乳瓶の使用

母乳やミルクの乳糖のみではう蝕にならないが、他の糖質摂取が始まるとう蝕になるリスクが高まることを説明する。
卒乳に関しては児の生活環境などに合わせ無理がないように配慮する。

⑤ 仕上げみがき

保護者が行う仕上げみがきを習慣化し、9歳まで行う。

⑥ ブクブクうがい

4歳からできるフッ化物洗口を視野に入れ練習するよう指導する。

⑦ フッ化物配合歯磨剤

使用を勧奨し使用方法（使用量、うがいの水量、うがいの回数など）について指導する。

⑧ フッ化物塗布

定期健診を勧奨、フッ化物塗布は定期的に行うことで効果があることやサハライドとの違いについて説明する。

⑨ 指しゃぶり・おしゃぶり

習癖と不正咬合のリスクについて知らせる。習癖については生活状況などを考え無理やりやめさせる指導はしないよう配慮する。

⑩ グラグラしたり、抜けた歯がある

外傷などの原因がないのに、歯の動揺や脱落した歯があるなど低ホスファターゼ症が疑われる場合は小児科医の受診をすすめる。

氏名 _____

保護者のみなさまへ チェックのある所に気を付けてください

✓	これからもむし歯予防のためにかかりつけ歯科医を持ち定期健診を受けましょう
	①ジュース類を毎日飲む習慣をつけないようにしましょう
	②おやつは時間を決めてだらだら食べにならないように気をつけましょう
	③間食は1日に2回以下にしましょう
	④母乳や哺乳瓶使用はむし歯になる心配があります
	⑤保護者が行う仕上げみがきは9歳までしてあげましょう
	⑥ブクブクうがいの練習をしましょう
	⑦フッ化物配合の歯みがき剤を使うとむし歯予防の効果があります
	⑧フッ化物を塗るとむし歯予防の効果があります 定期健診とあわせて塗ってもらいましょう
	⑨習癖があると歯並びやかみ合わせに影響がでることがあります
	⑩自然に痛みもなく乳歯が抜けてしまう場合、他の病気が原因であることがあります 小児科への受診をお勧めします

母子健康手帳への記載

2歳児健康診査

(年 月 日実施 / 歳 か月)

体 重	. kg	身 長	. cm													
頭 囲	. cm	栄養状態	ふとり気味・普通・やせ気味													
目の異常 (眼・涙かその他)	なし・あり・疑	耳の異常 (腫脹・その他)	なし・あり・疑													
健 康 要 観 察																
歯 の 状 態	E	D	C	B	A	A	B	C	D	E	むし歯の種類	O	A	B	C1	C2
	E	D	C	B	A	A	B	C	D	E	要治療のむし歯	なし・あり(本)				
	E	D	C	B	A	A	B	C	D	E	歯の汚れ	なし・あり				
	E	D	C	B	A	A	B	C	D	E	歯肉・粘膜	異常なし・あり				
	E	D	C	B	A	A	B	C	D	E	かみ合わせ	よい・経過観察				
											その他の異常	異常なし・あり				
年 月 日診査																
特記事項																
施設名又は担当者名																

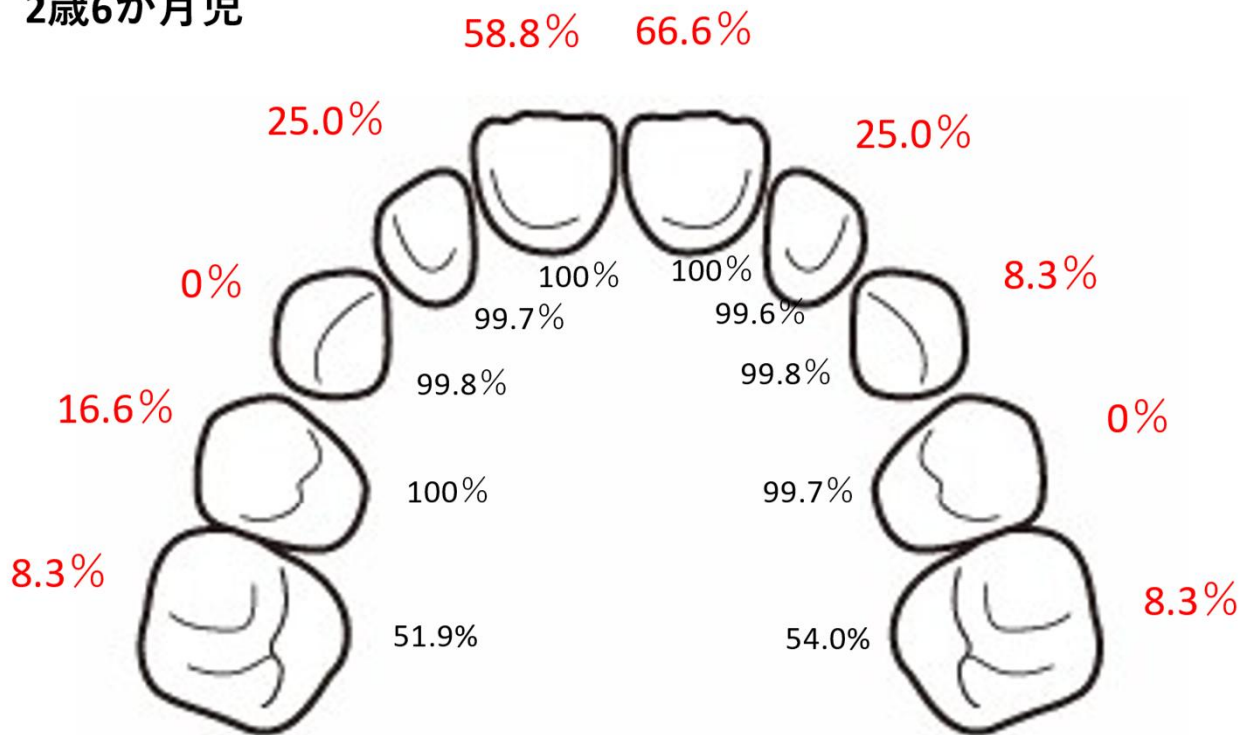
次の健康診査までの記録
(自宅などで測定した身長・体重も記入しましょう。)

年月日	年齢	体 重	身 長	特 記 事 項	施設名又は担当者名
		. kg	. cm		

シールを貼る

むし歯の種類	O	A	B	C1	C2
要治療のむし歯	なし・あり(本)				
歯の汚れ	なし・あり				
歯肉・粘膜	異常なし・あり				
かみ合わせ	よい・経過観察				
その他の異常	異常なし・あり				

2歳6か月児



むし歯がある2歳6か月児**1.48%** (12人/810人) のうち
 むし歯があった歯：むし歯本数/対象人数 (外側)
 萌出率：萌出歯/対象人数 (内側)

